

選択領域

	講習名	主な受講対象者	開講日	掲載頁
①	【選択】教室環境での英語習得：研究成果にもとづく学習目標の設定	小学校教諭、中学校英語教諭、高校英語教諭	7月28日（土）	2
②	【選択】戦後欧州統合の歴史と現状－政治・経済そして社会－	全教諭、養護教諭	7月28日（土）	2
③	【選択】新聞・テレビは正義の味方か－裏読みで鍛えるネット時代のメディア・リテラシー－	中学校・高等学校教諭	7月28日（土）	2
④	【選択】言語技術の方法と実践	全教員	7月28日（土）	3
⑤	【選択】生徒と教員のストレスとその対処	全教諭・養護教諭	8月7日（火）	3
⑥	【選択】総合的な学習の時間における公的統計データを用いた教材開発	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭	8月7日（火）	3
⑦	【選択】家族と平等－最新の最高裁判決を素材に－	全教諭	8月7日（火）	4
⑧	【選択】ラグビーの指導方法	全教諭	8月7日（火）	4
⑨	【選択】いじめを理解する－臨床心理学の視点から－	全教諭・養護教諭	8月8日（水）	4
⑩	【選択】発達障害のある児童生徒への学習支援	全教員	8月8日（水）	5
⑪	【選択】インターネット最新事情：ソーシャルメディアの光と影	全教諭	8月8日（水）	5

★ 選択領域

講習名	【選択】教室環境での英語習得：研究成果にもとづく学習目標の設定			①
対象	履修認定職種	教諭	主な対象者	
開講日	2018年7月28日（土）			
定員	20名	講習料	6,000円	
担当講師	柳町 智治（北星学園大学文学部教授）			
講習内容	本講習では、英語および外国語学習研究の重要な成果に触れ、理解を深めることを目指します。特に、教室環境での指導を通して生徒にどのような英語能力をつけさせるべきかという問いに関して、応用言語学、コミュニケーション学、社会言語学における知見や議論を参照しながら批判的かつ建設的に検討していきます。			

講習名	【選択】戦後欧州統合の歴史と現状－政治・経済そして社会－			②
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭	主な対象者	
開講日	2018年7月28日（土）			
定員	15名	講習料	6,000円	
担当講師	原島 正衛（北星学園大学経済学部教授）			
講習内容	第二次世界大戦以降のヨーロッパにおける国民国家の枠を超えた経済・政治・社会統合の歴史を21世紀の現在に至るまで概観し、その背景にあるヨーロッパが抱える（抱えてきた）諸問題について考察を行う。検討時期を、1. 戦後経済復興期（経済再建）、2. 高度経済成長期、3. 経済停滞期、4. 欧州統合の再活性期、5. 経済通貨統合と政治統合期、6. 21世紀の欧州統合といった時期区分を行い、ヨーロッパの統合の実際、背景を明らかにする。			

講習名	【選択】新聞・テレビは正義の味方か－裏読みで鍛えるネット時代のメディア・リテラシー－			③
対象	履修認定職種	教諭	主な対象者	
開講日	2018年7月28日（土）			
定員	20名	講習料	6,000円	
担当講師	阪井 宏（北星学園大学文学部教授）			
講習内容	私たちはすさまじい情報過多の時代を生きています。少しでも油断すると、裏付けの不明確な情報の大洪水にのみこまれてしまいそうです。そんな中、日々の報道に対し、私たちはどう接すればよいのでしょうか。子供たちにどんなアドバイスをしたらよいのでしょうか。いくつかの事例をもとに、ネット時代に求められるメディアリテラシーについて一緒に考えてみましょう。			

講習名	【選択】言語技術の方法と実践				④
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な対象者	全教員	
開講日	2018年7月28日(土)				
定員	40名	講習料	6,000円		
担当講師	松浦 年男(北星学園大学文学部准教授)				
講習内容	言語技術は「説得的な話し方」のようなものではなく、自分の考えを論理的に、また明確に示すための方法論である。言語技術の習得は国語単独の能力だけでなく、教科の枠を超えた総合的な学力の向上をもたらす(たとえば技能教科でも美術作品鑑賞の精密化や体育競技でのプレイ判断の明確化などが挙げられる)。本講習では講義と実習を通じて言語技術を鍛える具体的な方法を紹介し、基本的な考え方を身につけていく。				

講習名	【選択】生徒と教員のストレスとその対処				⑤
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭	主な対象者	全教諭・養護教諭	
開講日	2018年8月7日(火)				
定員	60名	講習料	6,000円		
担当講師	田辺 毅彦(北星学園大学文学部教授)				
講習内容	現在、学校においても、子どもたちはいじめや不登校を始めとする対人関係問題に悩み、教師も日常業務の増加や教育体制の変化に加え、子どもたちのコミュニケーション形態の変化や保護者との対応に悩んでいる。この授業においては、学校現場の問題をストレスやバーンアウトといった心理学的な視点から取り上げて分析し、その解決策について受講者と共に考えていきたい。				

講習名	【選択】総合的な学習の時間における公的統計データを用いた教材開発				⑥
対象	履修認定職種	教諭	主な対象者	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭	
開講日	2018年8月7日(火)				
定員	20名	講習料	6,000円		
担当講師	古谷 次郎(北星学園大学経済学部教授)				
講習内容	総合的な学習の時間を想定し、インターネット上に公開されている「公的統計データ」を検索し、表計算ソフトで加工・処理・表現・分析・考察するための教材開発について、講義と実習をします。具体的には、「環境」、「国際交流」、「資源エネルギー」、「地域経済」の4分野について、「公的統計データ」に基づく図表の作成を通して、「公的統計データ」の作られ方への理解と学習指導における活用方法の習得を目指します。講習は、コンピュータ実習室で行います。				

講習名	【選択】家族と平等—最新の最高裁判決を素材に—				⑦
対象	履修認定職種	教諭	主な対象者	全教諭	
開講日	2018年8月7日(火)				
定員	20名		講習料	6,000円	
担当講師	岩本 一郎(北星学園大学経済学部教授)				
講習内容	日本国憲法24条は、家族に関する基本原則として、個人の尊厳と両性の本質的平等をかかげる。近時、家族と平等をめぐって、国籍法判決、非嫡出子相続分差別訴訟、再婚禁止期間違憲訴訟、夫婦別姓違憲訴訟など重要な最高裁判決が相次いで出されている。本講習では、家族における平等の意味を考えるとともに、近時の最高裁判決の内容を丁寧に見ながら、それぞれの判決の意義について検討する。				

講習名	【選択】タグラグビーの指導方法				⑧
対象	履修認定職種	教諭	主な対象者	全教諭	
開講日	2018年8月7日(火)				
定員	30名		講習料	6,000円	
担当講師	蓑内 豊(北星学園大学文学部教授) マシュー J. コッター(北星学園大学短期大学部専任講師)				
講習内容	タグラグビーは、ラグビーからタックルなどの接触プレーをなくした球技です。その特徴は、楕円球を抱えて自由に走り回ることができることです。男女や年齢に関係なく、すぐに誰でも一緒に楽しむことができ、運動量も豊富です。身体接触がないので、グラウンドでも体育館でも実施可能です。小学校の学習指導要領解説、および、中学校の学習指導要領解説でも、球技の一つとしてタグラグビーが紹介されています。				

講習名	【選択】いじめを理解する—臨床心理学の視点から—				⑨
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭	主な対象者	全教諭・養護教諭	
開講日	2018年8月8日(水)				
定員	15名		講習料	6,000円	
担当講師	牧田 浩一(北星学園大学社会福祉学部准教授)				
講習内容	スクールカウンセラー制度の発足は、中学生がいじめを受けたことを苦に自殺した事件が契機である。スクールカウンセラー(学校臨床心理士)は、「いじめ」問題をどうとらえ、どのような解決策を示しているのか。また、なぜ、子どもたちの間にいじめが起こるのであろうか。本講習では、臨床心理学の視点から、「いじめ」解決に向け、いじめを理解することを目的とする。				

講習名	【選択】発達障害のある児童生徒への学習支援				⑩
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な対象者	全教員	
開講日	2018年8月8日(水)				
定員	100名	講習料	6,000円		
担当講師	田実 潔(北星学園大学社会福祉学部教授) 梅永 雄二(早稲田大学 教育・総合科学学術院(教育学部)教授)※申請予定				
講習内容	発達障害のある児童生徒は、今では通常学級にも多く在籍するようになっている。特別な配慮や支援を必要としている児童生徒達に対して、考えられる適切な学習支援としてどのような支援が考えられるのか、具体的な支援事例を交えながら講義することとする。その他にもパニックを起こした場合の対応方法や、大学進学を考えている発達障害のある高校生が大学で受けられる支援についても解説する				

講習名	【選択】インターネット最新事情：ソーシャルメディアの光と影				⑪
対象	履修認定職種	教諭	主な対象者	全教諭	
開講日	2018年8月8日(水)				
定員	30名	講習料	6,000円		
担当講師	金子 大輔(北星学園大学経済学部教授)				
講習内容	近年、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等のソーシャルメディアの利用者が急増している。これらを上手く活用すれば、日常の授業実践に役立つ情報の取得や、普段会う機会のない教育関係者とのコミュニケーションも可能である。その反面、子どもたちにはさまざまな問題が起こっているのも事実である。そこで本講義では、実際にソーシャルメディアを利用しながら、その仕組みを理解するとともに、活用方法や問題点についても議論する。そして、子どもたちの生活や学校・社会に与える影響についても考えていきたい。				